

令和6年度 奈良県感染症発生動向調査事業感染症関連講演会 兼
令和6年度 第2回院内感染対策カンファレンス

奈良県でも増加する外国出生 新登録患者及び潜在性結核感染症患者

令和6年11月23日(土)

奈良県福祉医療部 医療政策局

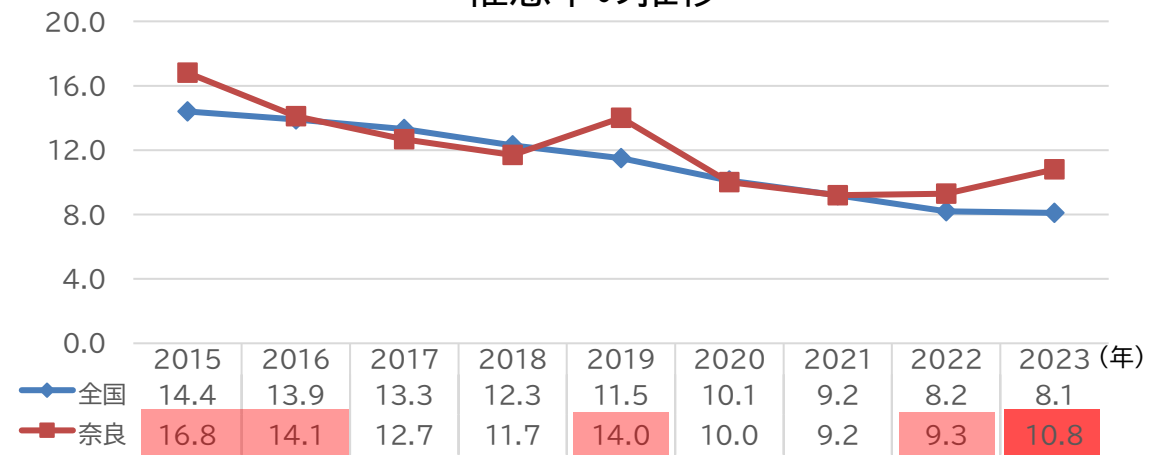
参事 本木 隆規

奈良県の結核統計概要

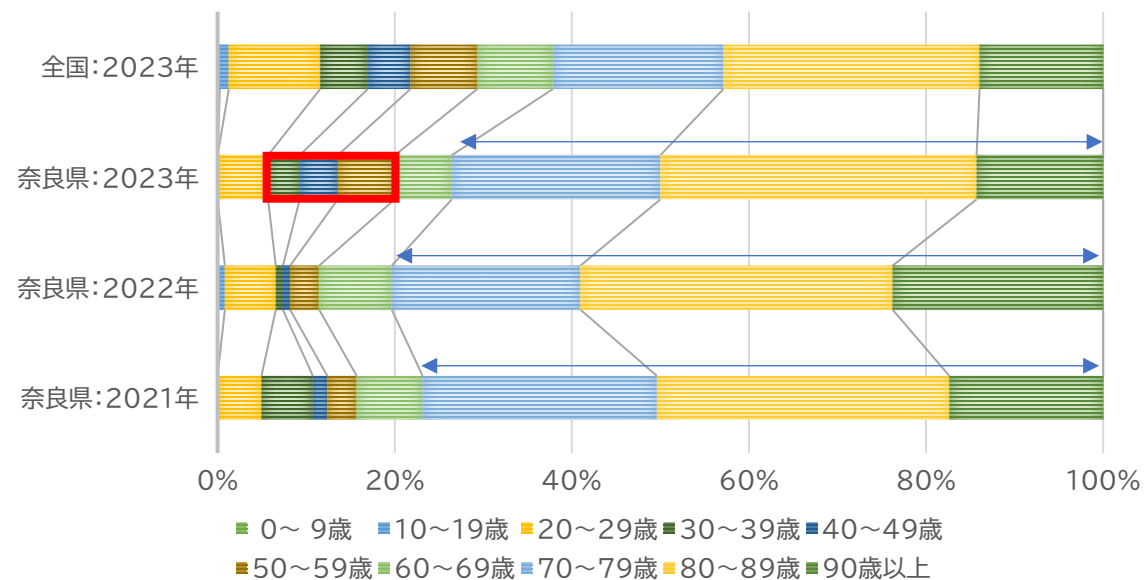
2023年 (R5年)	新登録患者数 (肺結核・肺外結核等、LTBI除く)	罹患率 (人口10万対)
全国	10,096 人	8.1
奈良県	140 人	10.8

- 罹患率は、**10.8**と前年より上昇し、
全国**ワースト3位**となった。
- 新登録患者のうち、61人(44%)が喀痰塗抹陽性患者。
喀痰塗抹陽性肺結核罹患率は**4.7**と**ワースト1位**。
- 年齢構成別では、全国に比べて
70歳以上の割合が高い状況である。
- 2023年は、**30歳～50歳代の割合が増加し**、
70歳以上の割合は減少している。

罹患率の推移



年齢階層別患者割合

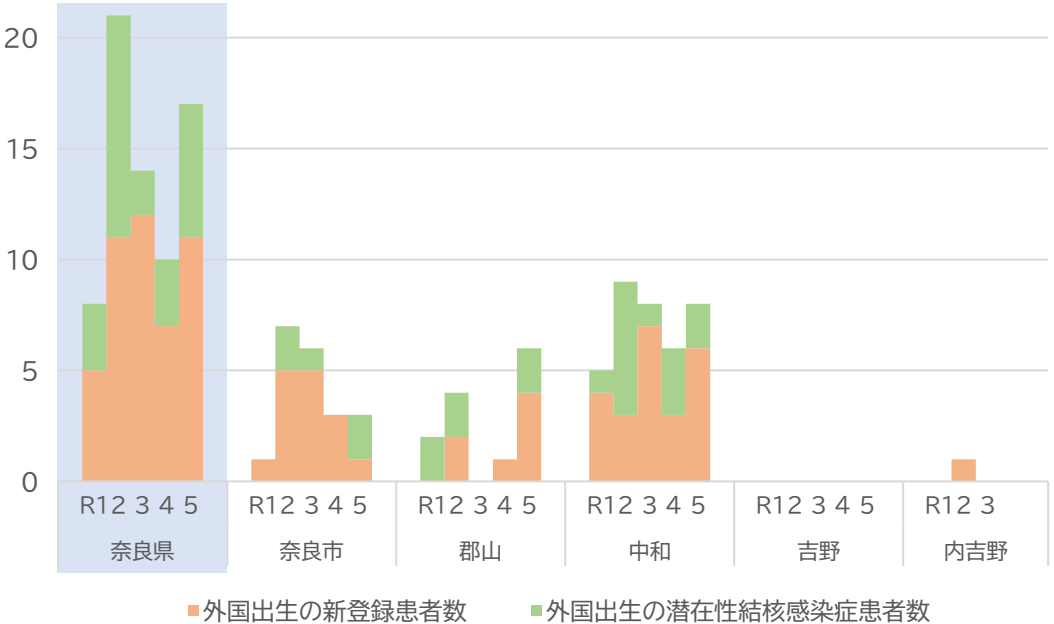


新登録及び潜在性結核感染症患者の外国出生者数

- 全国、奈良県ともに増加傾向。
- 2023(令和5)年は、11人登録があった。
- 吉野保健所以外では、ほぼ毎年外国出生の新登録患者及び潜在性結核感染症患者がいる。

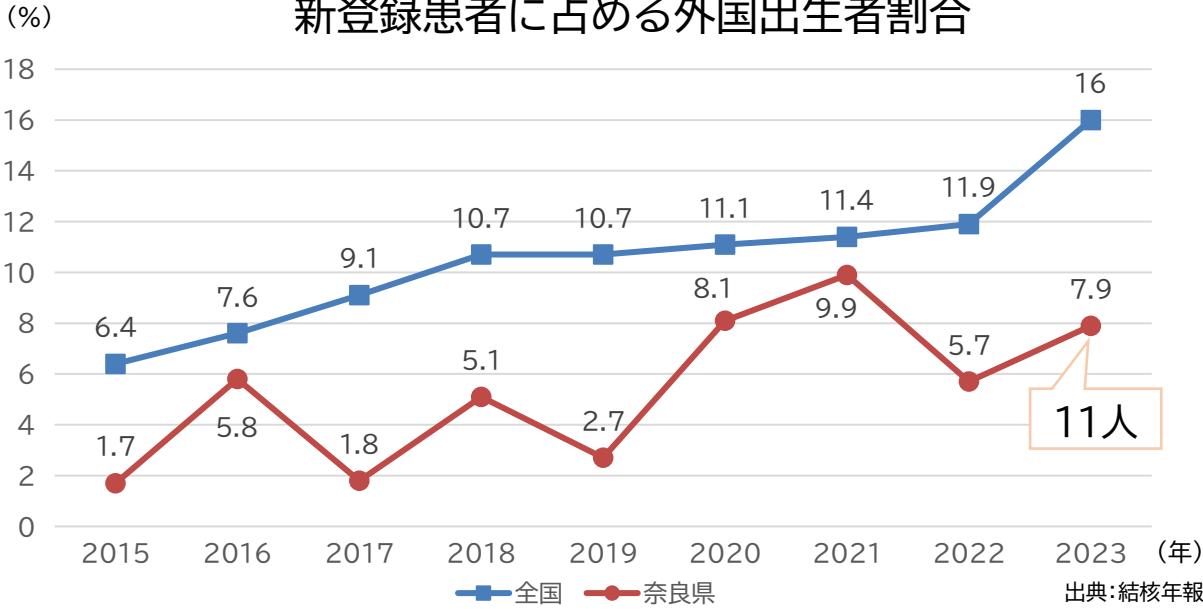
※ 内吉野保健所は、令和4年に吉野保健所に合併されている

(人) 外国出生の新登録及び潜在性結核感染症患者数



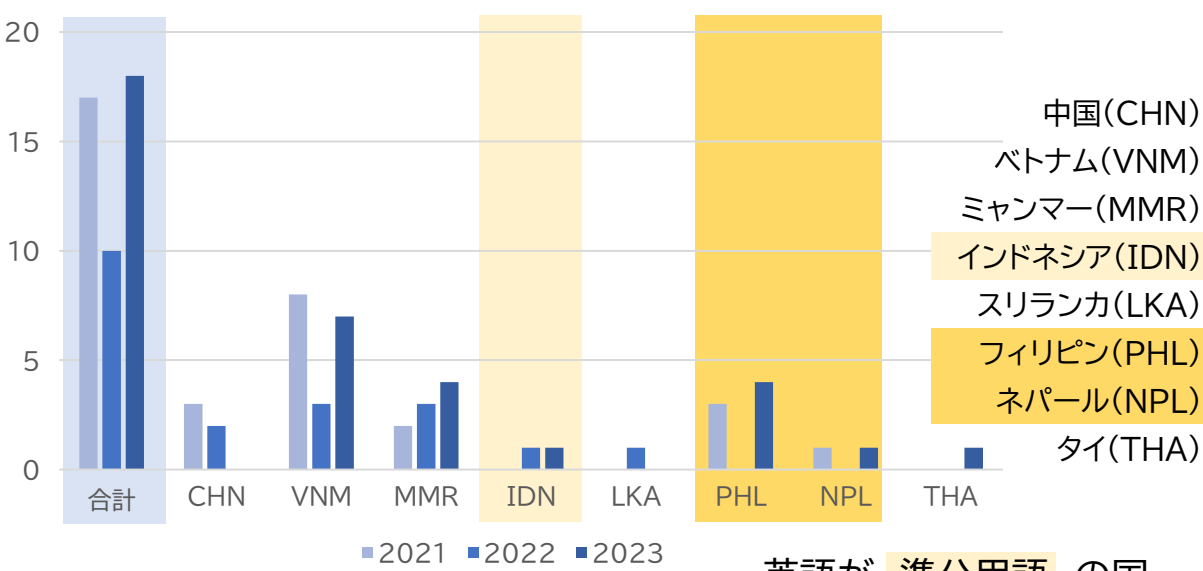
出典:結核年報

新登録患者に占める外国出生者割合



出典:結核年報

(人) 国籍別の新登録及び潜在性結核感染症患者数(転入者を含む)



出典:奈良県・奈良市コホート検討会データ

英語が準公用語の国
公用語

外国人が来院したら...

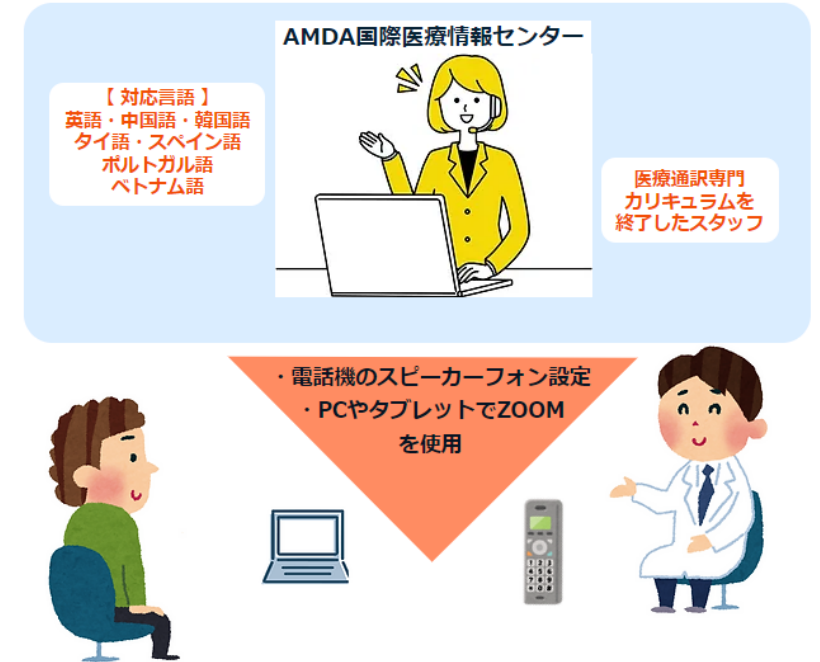
- 私たちの常識(医療制度)を押しつけないように立ち止まる。
- 英語よりも、「やさしい日本語」が通じることも多い。
 - ・短い文章
 - ・主語、述語、目的語を明らかに
 - ・避ける表現:擬態語・擬音語・慣用句・二重否定
- 図・イラストを利用する。
- 無料翻訳アプリ(VoiceTra、Google翻訳、DeepL等)
- 家族・友人、企業の外国人担当者※の連絡先を確認し、連絡。

※ 家族や職場などの訓練を受けていない通訳者のことをアドホック通訳者という。
誤訳や過不足ある翻訳の可能性がある、対象者のプライバシーを共有するというリスクもあるため、協力を得る場合には注意が必要。

結核が疑われたら...

直ちに患者居住地の保健所に連絡を

AMDA国際医療情報センター
30分無料: **要**事前登録:平日日中



ケース1

受付で、日本語ができない患者との
問診の電話通訳

ケース2

医療機関に同行した患者さんの
子どもが通訳を試みたが、十分に
意思疎通ができず、代わりに服薬
指導についての電話通訳

結核の多言語情報について

- 結核研究所をはじめ、他都府県では多言語に対応したリーフレットなどがホームページに掲載されています。



結核の常識2024についてはこちらから↓



↑ 東京都のホームページ

← 結核の常識2024の裏面